

GR Garage 浦和美園

TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Cup

プロフェッショナルシリーズ第7戦

クラブマンシリーズ第6戦

10月5日(土)~6日(日)

鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)



GR Garage 浦和美園 CAMP レポート

GR86/BRZ Cup の鈴鹿大会が行われました。プロシリーズ第7戦に吉田広樹選手と渡辺圭一選手が出場。GR Garage 浦和美園の大庭直人の管理のもと、吉田選手のサポートはGR Garage 熊本中央の白石圭とネッツスクエア南熊本店の吉川翔馬が、渡辺選手のサポートは三郷支店の松永渉が行います。土曜日の天候は曇り。予選は10時50分から15分間で行われ、33台が出走しました。吉田選手は17位となる2分27秒180をマーク。一方の渡辺選手は2分30秒415をマークし、32位につけました。予選終了後、複数の選手のベストタイムが抹消となったため、吉田選手の正式結果は16位、渡辺選手は同30位となりました。

日曜の天候は晴れ。決勝は8周で行われ、吉田選手はイン側16番グリッドから順当なスタートをきります。しかし、後方のクルマの伸びがよく、18位にポジションダウン。その後、混戦の中で坂裕之選手(910号車)をかわし、17位でオープニングラップを終えます。そこからは前を走る青木孝行選手(31号車)とテールトゥノーズに。2周目、上位の車両がトラブルによりストップしたため、16位に復帰しますが、青木選手を攻略できないまま周回数が進みます。6周目、上位の車両がストップで15位に浮上。しかし、その後も青木選手を抜くことはできず、チェッカーとなりました。一方の渡辺選手は30番グリッドから好スタート。29位にポジションを上げてオープニングラップを終えます。2周目に28位に浮上しますが、5周目に小暮卓史選手(909号車)にかわされ、29位にポジションダウン。6周目、再び28位に復帰すると、最終周でスロー走行中のクルマをかわし、27位でチェッカーを受けました。

クラブマンシリーズ第6戦には大森和也選手が出場。GR Garage 浦和美園の渡邊颯人と伊奈支店の深澤建貴がサポートします。土曜の9時50分から行われた予選には50台が出走。A、Bの2組に分かれて行われ、大森選手はA組4位となる2分31秒854をマーク。A組のトップが総合1位となったため、7番グリッドを獲得しました。

決勝は8周で行われ、大森選手は7番グリッドから鋭いスタートで6位にポジションアップ。しかし、ダンロップコーナーでわずかに失速し、7位にポジションを落としてオープニングラップを終えます。2周目からトップ争いが激化し、大森選手は一步引いた位置でチャンスを狙います。4周目、セーフティカーが導入。7周目からレースが再開されると7位をキープしてフィナルラップに入ります。しかし、デグナーコーナーでインに飛び込んできたクルマと接触。大森選手はコース外へ押し出されながら横並びでヘアピンコーナーへ向かいます。後方の2台も襲い掛かる中、大森選手は7位を死守。そのまま逃げ切り、チェッカーを受けました。終了後、上位の選手にペナルティが科されたため、正式結果は6位です。

GR86/BRZ Cup プロフェッショナルシリーズ
#160 GR Garage 浦和美園 BS GR86

吉田広樹選手 決勝 15位

予選 16位 (2分27秒180)

GR86/BRZ Cup プロフェッショナルシリーズ
#8 JCS GR 浦和美園 GR86

渡辺圭一選手 決勝 27位

予選 30位 (2分30秒415)

GR86/BRZ Cup クラブマンシリーズ
#522 GR Garage 浦和美園 IDI GR86

大森和也選手 決勝 6位

予選 A組 4位 (2分31秒854)



DRIVERS VOICE

GR86/BRZ Cup プロフェッショナルシリーズ

吉田広樹選手

練習走行から雨が続き、ドライ路面のセットを試せないまま土曜日の予選になりましたが、コンディションが大きく変わる中で準備してくれたチームに感謝しています。決勝のスタートはまずまずでしたが、後方のクルマの伸びがよくて、ポジションを落としてしまいました。すぐに1つ順位を戻せましたが、その後はペースの異なるクルマにつまってしまう、抜けないまま最後まで走る流れになりました。多少強引に前に出たい気持ちもありましたが、チームが苦労して準備してくれたことを思い、無事にチェッカーを受けることを優先しました。

渡辺圭一選手

GR86 になって初めての鈴鹿を迎えました。新しくなったブリヂストンタイヤも今回が初めてでしたが、練習日は生憎の雨続き。ミッションの寿命も近く、最終戦までの時間を考えて無理せずクルマを壊さないことを意識しました。予選もぶっつけ本番になったので順位は仕方ないかなと思います。決勝はいいスタートを切って順位も上がりましたが、黄旗区間の混乱の中で順位を落とす形になりました。最終戦のもてぎは 86(ZN6)の頃から相性がいいので、GR86 でも自分の走りをアジャストできればいい結果につながると思っています。

GR86/BRZ Cup クラブマンシリーズ

大森和也選手

予選アタックに入った周に赤旗が出てしまいました。ミスもあったので、むしろアタックのやり直しができただけで良かったです。決勝はトップ争いが激しく、距離をおいて様子を見ていましたが、徐々にリアが不安定になって苦しい状況でした。雨が続いてドライ路面の決勝セットを試せなかった影響が出た感じです。展開を考えればもっと前に行けたと思いますが、マシンの状態や今週の流れを総合すると、これが今の実力かなと思います。今回の結果でタイトルの可能性が消えてしまったので、最終戦は優勝だけを目指して頑張ります。

MECHANIC VOICE

伊奈支店 深澤建貴 (522号車担当)

レースに参加したのは今回が初めてです。レース特有のタイムスケジュールにプレッシャーを感じましたが、終わりの時間に間に合うように整備を進めることは普段の店舗業務でも同じだと思って取り組みました。また機会があれば参加したいですが、レーシングカーよりも市販のスポーツカーが好きなので、SUPER GT やスーパー耐久よりも、GR86/BRZ Cup に参加したい気持ちが強いです。



次戦予告 11月23日~24日 モビリティリゾートもてぎ

PARTNERS



有限会社アイ・ディ・アイ



株式会社カーグラス・JP



K-one



埼玉スリーボンド株式会社



ティーズ・ワークス



株式会社デンソーソリューション



東京麒麟ビバレッジサービス株式会社

トヨタ モビリティパーツ株式会社

トヨタモビリティパーツ株式会社



株式会社ブリヂストン



丸和工業株式会社



株式会社ミノルインターナショナル



Mechanix Wear LLC



株式会社リキテック



レカロ株式会社

SPECIAL THANKS

